

第 17 回 YGN 若手勉強会

核融合の早期実現という破壊的イノベーション

主催： 日本原子力学会 若手連絡会

来る 6 月 12 日、日本原子力学会 若手連絡会 (YGN) は、「核融合の早期実現という破壊的イノベーション」と題し、オンライン (Zoom) で勉強会を開催致します。講師は、京都大学の武田秀太郎特定准教授が務めます。

「核融合を 10 年以内に実用化する」、そんな夢のような声が今欧米で上がっています。その源は、MIT・オックスフォード大学といった名だたる名門からスピアウトした核融合ベンチャー企業の数々です。彼らは Google、ビル・ゲイツ、ジェフ・ベゾスといった有力な後ろ盾を得て総計 2,000 億円にも上る資金を調達、今や真剣に 2030 年の核融合発電を目指し進んでいます。こうした核融合ベンチャー企業の躍進は、今や IAEA や DOE(米エネルギー省)を始めとした公的機関を巻き込み、さらに勢いを増しています。

本勉強会では、核融合ベンチャー企業の第一線で国際的に活躍している科学者の方々をパネリストとしてお招きします。核融合の実用化に向けた現在の取り組み・展望を紹介するとともに、今後の課題や原子力の未来へのインパクトについて参加者間で議論することで、商用核融合炉の早期実現について理解を深めることを目的としています。

オンライン開催 (Zoom) かつ、質疑応答は講演中からオープンチャットで自由に受け付けますので、お気軽にご参加いただけますと幸いです。

- 記 -

- 【日時】** 2021 年 6 月 12 日 (土) 13:30~15:50 (13 時よりアクセス可能)
- 【場所】** オンライン (ZOOM: お申込み後にアクセス情報をお送りいたします。)
- 【講師】** 武田秀太郎 氏 (京都大学総合生存学・特定准教授、
京都フュージョニアリング社・共同創業者、
前・IAEA 科学応用局核融合プロジェクト担当官補)
- 【パネリスト】** 森 芳孝 氏 (光産業創成大学院大学・准教授)
田辺 博士 氏 (東京大学・助教、Tokamak Energy 社共同研究者)
世古 圭 氏 (京都フュージョニアリング社、Coral Capital 社)

【講師略歴】



(略歴) 京都大学総合生存学・特定准教授。京都大学工学部卒業(材料工学)、ハーバード大学修士(サステナビリティ学)、京都大学エネルギー科学研究科博士(核融合工学)。京都大学特任助教在職中の2019年、日本で最初の核融合ベンチャー企業である京都フュージョニアリング社を設立。その後国際原子力機関(IAEA)科学応用局における核融合エネルギー担当・国連職員を経て、現職。IAEA 事務局長特別功労賞ほか受賞。

【パネリスト企業】



2009年創業、イギリス・オックスフォードに本社を置く核融合ベンチャー企業。累計約120億円の資金を調達し、2030年までのトカマク発電実用化を目指している。



2005年に創設され、光技術を用いて新しい産業を創成することを目指した起業に特化した大学院大学。トヨタ等の出資を受け、レーザー核融合発電の実用化を目指している。



2019年創業、日本で初めての核融合スタートアップ。京都大学の研究成果を世界中の核融合プラント設計に応用し、日本発の技術で核融合商用化の早期実現をサポートしている。

【コーディネーター】 竹田 敏 (若手連絡会 運営委員)

大阪大学 大学院工学研究科 環境エネルギー工学専攻 助教

- 【参加費】 無料
- 【定員】 200名（先着順）
- 【対象】 原則として、39歳以下の若手社会人・学生が対象です。
・文系理系/専門分野問わず、お気軽にご参加ください。
・原子力学会の会員である必要はございません。
- 【プログラム】 13:30 ～ 13:35 開会・趣旨説明
13:35 ～ 14:25 講演「核融合ベンチャーという衝撃」（質疑 15分）
14:25 ～ 14:35 休憩
14:35 ～ 15:45 パネルディスカッション
「核融合の早期実現という破壊的イノベーション」
（講演 30分、質疑・ディスカッション 40分）
15:45 ～ 15:50 閉会
- *会終了後に、講師陣を交えた Web 交流会を予定しております。
- ・ブレイクアウトルーム機能で、1グループ4名程度で交流して頂きます。
 - ・1セット15分で、4セット（1時間）程度検討しております。
 - ・ランダムにグループ分けさせていただきます。
 - ・入退場自由で、1セットのみの参加も可能です。お気軽にご参加ください。
- 【申込】 6月10日（木）17時までに以下のサイトよりお申込ください。
お申込用フォームサイト <https://forms.office.com/r/M2BYFtqrms>
*アクセス不可の方は下記窓口までお問い合わせください。
- 【窓口】 日本原子力学会 若手連絡会
中森 文博（電力中央研究所）：nakamori@criepi.denken.or.jp
- 【備考】 ◆YGN 若手勉強会では「チャタム・ハウス・ルール」*を適用し、参加者相互の信頼関係に基づく率直な議論を行います。本趣旨にご賛同の上、ご参加ください。
*チャタム・ハウス・ルール：「会議で得た情報を参加者は自由に使用してもよいが、

発言者及びその他の参加者の身元・所属団体は明かしてはならない」というルール。

国際会議等の場で率直な議論を促すために多く用いられている。

◆本イベントへご参加いただいた皆様に、YGN 活動（勉強会や見学会のご案内など）のメールマガジンを配信させていただきます。

<若手連絡会>

日本原子力学会 若手連絡会は、原子力に携わる若手世代間の連携を強めることで、若手が本来持つ活力を引き出し、その専門性や能力を高める活動を行っています。この活動を通して、原子力全体の活性化を図り、原子力技術の発展、原子力に関する諸問題の解決、そのために必要となる新たな若手の育成に貢献することを目的としています。原子力の専門性を活かし、国・機関を超えた若手の連携によって社会へ貢献すべく、ネットワークの拡充強化を図っていきます。

ホームページ：<http://www.aesj-ygn.org/>

<YGN 若手勉強会>

日常業務に捉われない自己研鑽、分野や所属を超えた繋がりのお機会創出のため、2016 年 10 月より継続的に開催しております。

第 1 回	「もんじゅを見つめ直す」	2016 年	10 月
第 2 回	「次世代炉開発に向けて考慮すべきことは何か？」	2017 年	2 月
第 3 回	「原子力の将来とイノベーション」	2017 年	4 月
第 4 回	「次世代小型モジュラー炉:シンプルで安全、そして経済的な選択肢」	2017 年	10 月
第 5 回	「安全神話とは何か。私たちは本当に安全神話に囚われていたのか。」	2017 年	11 月
第 6 回	「原子力安全と自治体行政：福井県の経験から」	2018 年	2 月
第 7 回	「原子力プラント建設の技術継承」	2018 年	5 月
第 8 回	「著者と語る『日本の原子力外交－資源小国 70 年の苦闘』」	2018 年	7 月
第 9 回	「国際協力・海外進出の現状と今後」	2018 年	12 月
第 10 回	「放射線問題と国連 ～2つの『国連』報告を読み解く～」	2019 年	1 月
第 11 回	「原子力プラント建設の技術継承②」	2019 年	5 月
第 12 回	「原子力防災に携わる。ー現場から研究室、そして現場へー」	2019 年	9 月
第 13 回	「脱炭素化、イノベーション、原子力の役割」	2019 年	11 月
第 14 回	「宇宙探査における原子力利用」	2020 年	9 月
第 15 回	「高速炉サイクル若手座談会～高速炉サイクルは何処へ～」	2020 年	12 月
第 16 回	「気候変動問題入門：なぜ『カーボンニュートラル』を目指すのか？」	2021 年	1 月

以上